

幕末明治福井150年博 講演会

～龍馬と福井藩が目指した新国家～

教えてください!

『坂本龍馬が目指した新国家』

- 日時 9月8日(土) 午後2時～3時30分
- 会場 越前市中央図書館 学習支援室
- 講師 松下 敬一氏 (福井あすわ歴史道場会長)

(松下敬一氏 プロフィール)

福井市生まれ。幕末を含む大の歴史好きで、平成25年地元「福井あすわ歴史道場」を設立し会長に就任。現在歴史を活かした地域活性化を目指し足羽公民館を活動場所とし、地域活動、各種講演会などを行って歴史をひもとき活躍されておられます。

・新たに見つかった坂本龍馬の手紙に書かれていた話題のキーワード「新国家」とは龍馬が目指した新たな国家体制のことであり、福井藩が「橋本左内」が26歳の若さで安政の大獄において志半ばに倒れたときから目指していた公儀政体論に基づく「民主的な近代統一国家」のことであったのではないだろうか。

・倒幕派の薩長と佐幕派の会津の狭間に立ち幕末動乱の難局を平和的に話し合いで解決しようとしていた越前福井藩。今回発見された手紙はまさに坂本龍馬がこの福井藩の考え方を学び頼りとしていたことが証明された手紙なのである。でなければ龍馬が手紙の中で福井藩・松平春嶽公の御上京を「千万の兵を得たような心持ち」などと書くはずもなく、新国家建設において極めて重要な「財政」を福井藩士・三岡八郎(後の由利公正)に任せようと福井藩に懇願するはずもないのである。龍馬は「福井藩主導」による平和的な「新国家」建設を福井藩重臣・中根雪江を通して模索していたものと考えます。

・新たに見つかった坂本龍馬の手紙を福井あすわ歴史道場会長 松下敬一氏が読み解きます。

入場無料 (先着70名)

坂本龍馬に興味がある方は、ぜひこの機会にお聴きになってください。

《主催》 越前市図書館友の会

《共催》 越前市中央図書館

お問合わせ先

越前市図書館友の会事務局 電話0778-22-0354
越前市高瀬二丁目7-24 (越前市中央図書館内)